



Home (ホーム)

稲田学園だより NO. 31
令和2年 3月 2日
発行人 校長 八木沼孝夫

教育目標 やさしく かしこく たくましく 未来を拓く 稲田の子

【めざす子ども像】

- 思いやりがあり、きまりを守る子ども
- 夢や目標をもって、自ら学び続ける子ども
- 心と体がたくましく、最後までがんばる子ども
- ふるさとを愛し、社会や未来を拓く子ども



学園マスコット
“いなっ子”

3月4日(水)から臨時休校となります

2月27日(木)の夕方、突然、安部首相の全国一斉臨時休校の要請が発表され、その対応に追われていましたが、市教委の指導により明後日3月4日(水)から3月23日(月)まで臨時休校となりました。各学年とも卒業・進級に向けた最後のまとめの時期に入っていて、今年度そして6年間を、さらには義務教育9年間を振り返りながら、ここまで大きく成長した子ども達に楽しい最後の学校生活を送らせることができないことが非常に残念です。

子ども達の安全・安心を第一に考え、これ以上全国的な新型コロナウイルス感染の拡大を防ぐために行われた措置であることを踏まえてご理解をお願いします。

明日が今年度最後の授業日で、今日を含めて臨時休校の事前指導や連絡等をしっかり行っていきたいと思いますが、ご家庭でも次の点にご協力をお願いします。

ご家庭でお願いしたいこと

- ・お子さんに臨時休業の趣旨を再度確認していただき、外出を控えて自宅で過ごすようにさせてください。
- ・家で過ごす際は、次の点に留意させてください。
 - ① 起床・就寝時間を決めて規則正しい生活を送ること
 - ② 免疫力を高めるためにバランスのよい食事をとること
 - ③ ゲームやスマートホン等の使用時間を決め、自分自身の生活をコントロールできるようにすること
- ・家でもこまめに手洗い、アルコール消毒、マスク着用を含む咳エチケットなど感染予防を心掛けがけさせてください。
- ・学校から出された課題や、教科書・ドリル・ワーク等で終わっていない学習内容を行うなど自分で計画的に学習するようにさせてください。
- ・お子さんの健康状態を把握して、かぜの症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている場合（解熱剤を飲み続けなければならない場合も同様）、強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合には、お近くの保健所や「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。これらの症状が上記の期間に満たない場合や、インフルエンザ等の心配があるときには、通常と同様にかかりつけ医等にご相談ください。
- ・万が一、休業中に事故や大きなけが、入院等があった場合には学校にご連絡ください。
- ・担任からお子さんの様子をうかがうために電話連絡や家庭訪問をさせていただく場合もありますのでご理解ください。
- ・ご不明な点やお困りなことがありましたらご連絡いただければ幸いです。

なお、3月13日(金)の中学校の卒業式と3月23日(月)の小学校の卒業式は、出席者や内容を変更しながらも、当日実施する予定です。詳しい内容につきましては、後日お知らせいたします。

なお、今後、感染の状況や国や県、市の通知・指導により対応が変わることがありますので、その時はメール一斉配信やホームページ等でお知らせいたします。

2月27日(木)の午後、中学校の卒業式の全体練習が行われました。最後に校長の私から中学生に、卒業式の意義や臨み方、想いなどを話してみました。その時の真剣に聞いてくれる子ども達の表情から、卒業式は感動的なものになると確信しました。その矢先に、夕方に突然の臨時休校の要請がだされました。長年教員生活を送っていますが、今回のように急に状況が大きく変わってしまうのは、9年前の東日本大震災以来の出来事です。現在の9年生は、東日本大震災の時は幼稚園の年長さんでした。そのため、9年生は幼稚園の卒園式を行っていないと思います。そのことを踏まえて、卒業式は多少形態を変えざるを得ませんが、厳粛な中にも感動的な卒業式にしなければと思っています。保護者や地域の方々のご理解とご協力を得ながら実施していきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。